

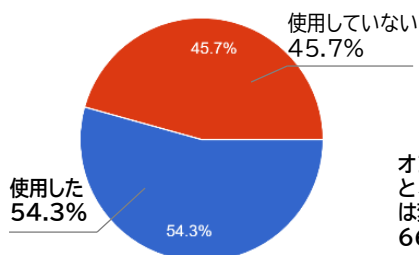
2021年度 新入社員採用に関するアンケート調査(Web)

New「オンラインを活用した採用、人事担当者の印象を調査」

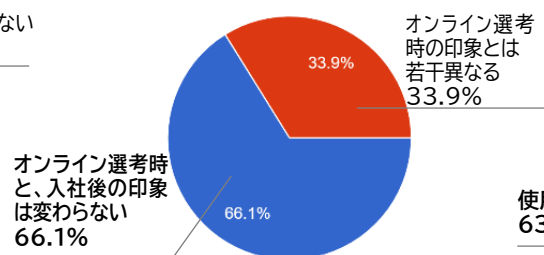
調査対象	九州生産性本部 会員企業のうち504社(労組、組織の重複を除く)	
調査期間	2021年4月12日～4月14日(3日間)	
調査方法	各企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)	
回答数	130組織(回答率25.8%)	
調査項目	(1)会社所在地 (2)業種 (3)従業員数 (4)2021年度4月に新入社員を採用したか (5)前年度と比較しての採用人数の増減 (6)どういうポイントで採用したか(複数選択可) (7)採用活動でオンラインを使用したか(2021年4月入社) (8)オンライン選考を実施した人事担当者へ「入社後の印象の変化」【Pick Up】 (9)2022年度採用活動でオンラインを使用するか	

昨年、コロナ禍の中で各企業が取り組んだと思われる「オンラインを活用した採用」に関して約7割の企業が「入社後の印象は変わらない」と回答。オンライン採用でも企業側はあまりギャップを感じていない。

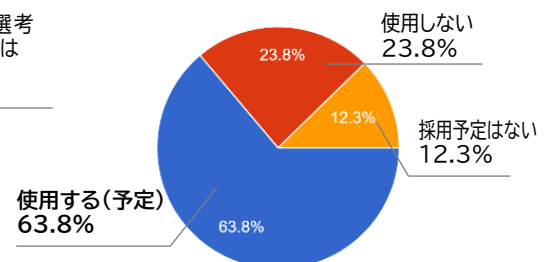
(1)2021年度採用活動でオンラインを使用しましたか？



(2)2021年度オンライン選考を実施した企業へ入社後の印象は？



(3)2022年度採用活動でオンラインを使用しますか？



(1) 2021年度採用でオンラインを使用した企業は「54.3%」

2021年度4月入社を採用を行ったと回答した企業(112組織)の中で、選考の過程で「オンラインを使用した」と回答した企業は「54.3%」であった。従業員規模別で見ると、1000人以上の企業は77.8%がオンライン採用を行っている一方、300人未満の企業は30.3%にとどまっている。

(2) オンライン選考と、入社後の印象は「66.1%」が変わらないと回答。

オンライン選考を実施した企業の約7割が、「選考と入社後の印象は変わらない」と回答。オンライン選考でも自社に適した人材を採用できていることがうかがえる。

(3) 2022年度採用でオンラインを使用する(予定)企業は「63.8%」。

コロナ禍の中で、昨年よりも更にオンラインを活用して採用活動を行う企業が増えることがうかがえる。また、(2)の質問で「印象が若干異なる」と回答した企業も、全ての企業が次年度も引き続きオンラインを使用して採用活動を行うと回答した。距離の制限を受けずに入社試験を行えることや、移動、宿泊に関する各種採用コストを抑えられることもその要因と思われる。

※その他、全体の調査結果に関しては、弊本部HPにて掲載いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ

TEL:092-771-6481 FAX:092-771-6490